

	12月1日現在	前月比
男	14,159	+13
女	14,269	+3
計	28,428	+16
世帯数	6,283	+3



各地区で七五三祝い

七五三合同祝が、ことしも十一月十五日に各地区公民館で行われました。
ことし七五三を迎えたのは、四百二十二名の子どもたちで、お父さんやお母さんに付き添われ、各会場に集まり祝福を受けました。その一つである林地区では、記念撮影の後、全員そろって林小学校近くの鹿島神社に参拝し、子どもたちの健やかな成長を祈願しました（写真）

今月号のこあんない

飲酒運転は絶対やめよう……………二P
水田利用再編対策は目標面積を達成……………三P
輝かしい秋の生存者叙勲……………四P
取りもどそう美しい霞ヶ浦を……………五P
産業文化祭、青年のつどい……………六・七P
保健婦の健康メモ、わが家の味……………九P
お知らせ、やさと文芸……………十P

ちょっとしたゆだんで消える親子のえがお

小桜小4年
関 昌 秀

年始
年末

みんなそろって明るい正月

飲酒運転は絶対やめよう

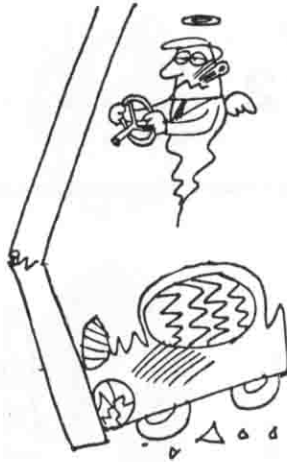
十二月は、一年のうちで最も交通事故の多い月です。特に年末は、ドライバーも歩行者も、気分的に何かとあわただしくなります。一方で、交通渋滞がひんぱんに起きるようになります。気ぜわしさとイライラが高じ、ともすれば、スピードの出し過ぎ、無理な追い越しなどの違反運転が目立つようになります。なかでも、この時期にふえるのが、飲酒運転による事故です。酒を飲む機会が多くなる年末年始は十分にご注意を。

死亡率は平均の三・二倍

二・一世帯に一台——これは、全国平均で見た乗用車の保有台数です。

一方、十六歳以上の「免許適齢人口」に占める運転免許保有者の割合は、男性が一・五人に一人、女性が四・五人に一人、全体で二・二人に一人となっています。

二世帯に一台の割合で乗用車



を持ち、二・二人に一人が運転する。車は、私たちの生活に、より一層身近なものとなりました。

ところで、成人男子の八割は酒を飲むといわれます。

国民皆免許時代といわれる一方で、酒が日常広く親しまれる。車を運転する者は、だれもが飲酒運転や酒気帯び運転の危険性を宿しているといえます。

酒酔い運転による死亡事故は、スピード違反、わき見運転に次いで多く、その死亡率たるや平均の三・二倍という高率です。

酒酔い運転は免許取り消し

年末年始は、特に飲酒の機会が多くなります。「この程度なら大丈夫」——これが一番危ないのです。くれぐれもご注意を。

酒酔い運転は、道路交通に与える危険が極めて大きく、交通事故が発生した場合における致死率が非常に高いにもかかわらず、いっこうに減少しておりません。また酒酔い運転は、くり返して行うことが多く、統計的に見ても他の違反行為をする可能性が大きいことから、それにつけられる点数が今回改正され、十二点から十五点に引き上げられて、酒酔い運転だけで運転免許が取り消されることになりました。なお、新しく設けられた違反行為に付けられる点数は、次の表のとおりです。

違反行為の種類別	点数
酒酔い運転	15点
麻薬等運転	15点
共同危険行為等禁止違反	9点
無車検運行	6点
無保険運行	6点
高速自動車国道等運転者遵守事項違反	2点
保管場所法違反（道路使用）	2点
自動二輪車乗車方法違反	1点
故障車両表示義務違反	1点
保管場所法違反（長時間駐車）	1点

「ちょっと一杯が事故のもと」

ブレーキの踏みおくれやスピードの出し過ぎ

アルコールは、自分は大丈夫だと思っていても、判断力を鈍らせるところに、その怖さがあります。

運転中、信号を見忘れるなど、注意力が散漫になったり、歩行者に気が付いても、ブレーキ操作が間に合わないなど、正常時に比べて動作の遅れが目立つようになります。



の運転実験」により、運転技能は、飲酒後三十分で最も悪くなり、以後徐々に回復したもの、二時間たってもまだ飲酒前の正常な状態には戻らなかったということです。

さて、どのように運転技能が低下したか見てみましょう。

まず第一に、ブレーキの踏み方がおくれ、第二にスピードの出し過ぎが目立ち、第三にアクセル、クラッチの踏み方が粗暴になる——すなわち、下肢の運動機能が鈍くなりました。

次いで、軽くですがハンドルのふらつきが見られました。また、交差点では、方向シグナルを出し忘れたり、安全確認をおこたったり、また停止位置が不安定になり、通行区分が守られませんでした。

飲酒は、反応を鈍らせ、注意力を散漫にします。「ちょっと一杯ぐらい」の気のゆるみが、最も危ないのです。

転作面積二六六ヘクタール

水田利用再編対策は目標面積を達成

水田利用再編対策による町の今年度の転作面積は、みなさんのご協力により、奨励補助金の概算払時において、目標を上回る二六六ヘクタールにのびました。町の目標面積は、全水田面積の一〇・〇一パーセントに相当する二百一十一ヘクタールでしたが、転作面積はこれを二六パーセント上回っています。ちなみに、昨年度の転作面積の

実績は、六十八・七ヘクタール（土地改良通年施行の四十七・二ヘクタールは含まない）という状況です。

今年度の転作面積は、県平均で見ると昨年の三倍というように、町へもほぼそれに相当する面積が割り当てられたわけです。水田利用再編対策という制度は、米の需給関係から見て稲作志向が強いということから、米

の生産量を抑制しようとするもので、転作面積を割り当て、同時に米の政府買入数量もそれに応じて減らすというものです。さらに、目標未達成の場合には次年度にその未達成の面積が加算される恐れがあるわけで、米の買入数量についても同様です。

町では、割り当てられた二百一十一ヘクタールという目標面積達成のため、対策協議会を設け、いろいろな検討を行い——（1）公平を期するため、割り当て面積は作付面積に一〇・〇一パーセントを乗じた面積を割り当てる。（2）個人で割り当て面積が達成できないときは、その集落全体で割り当て面積を達成する。——という方法で目標達成を図ってきました。また、転作した農家のみなさんにしわ寄せが行くのを防ぐため、米の買入数量にも転作実施者を考慮に入れるなどで調整を行いました。

今年度の転作実施面積を見ると、特定作物（大豆、ソバ、麦）八十三・三ヘクタール、永年性作物（果樹等）十八・六ヘクタール、一般作物（野菜等）三十二・四ヘクタール、農協保全管理九十二・七ヘクタール、土地改良通年施行三十八・九ヘクタールとなっており、通年施行分を差引くと二百二十七・六ヘクタールという面積になり、目標面積の二百一十一ヘクタールを大幅に上回ったといえます。

そこで、来年度の転作目標面積ですが、県全体で今年度の目標面積を達成していることもあり、町としては最悪の場合でも今年同様の二百一十一ヘクタールを予想しています。

なお、転作奨励補助金の概算金（二分の一）は、このほどみなさんの農協口座に入金されました。（飼料用の青刈稲の場合はこの概算金は支払われず、奨励補助金はその全額が精算払時に支払われることになります）転作物別の奨励補助金の額は別表のとおりです。

着々進む林道整備——今年度は九路線を実施

町では、林業の省力化を図り、林産物の生産を確保するため、林道の整備を着々と進めており、今年度は次の路線の開設や舗装を行っています。幅員は各路線とも四メートルですが、基幹作業道一号线のみ三メートルです。

（一）内は施工場所、延長、請負業者、請負金額

▽開設改良事業

- 上曽線（上曽地内、千六千M、（株）工務店、千五百二十万円）
- 一の沢線（小幡地内、六百四十五M、鬼沢組、九十万円）
- 善行寺線（太田地内、千五百M、（株）中村組、三千九百万円）
- 基幹作業道一号线（太田地内、千六百十M、（株）中村組、千五百

万円）

- 中戸線（中戸地内、四百六十M、桜井工務店、千二百万円）
- 真家線（真家地内、九百四十M、常洋建設工業（株）、千七百万円）
- 十三塚線（小幡地内、二百六十M、塚谷建設（株）、九百九十万円）
- 鳴滝線（瓦谷地内、百九十五M、市村土木（株）、六百八十万円）

▽舗装事業

- 部原金谷線一工区（部原地内、八百M、白田組土木（株）、一千万円）
- 部原金谷線二工区（部原地内、六百四十M、常洋建設工業（株）、八百十万円）



瓦会小学校新築工事始まる

来年6月の完成をめざす瓦会小学校の新校舎建設は、11月4日に工事の無事故を祈る地鎮祭と起工式を行い、いよいよ本格的に工事を開始しました。

工事を施工しているのは、柿岡の常洋建設工業株式会社で、工費は2億605万円です。

写真は、瓦会小学校完成予想図

転作物等	10a当りの奨励補助金
特定作物（麦類・大豆・ソバ）	52,000円
永年性作物（果樹・桑）	
一般作物、林木、養魚、農業施設用地及び施設園芸用施設	37,000円
管理転作（農協保全管理）	
土地改良事業通年施行（土地改良通年施行）	

輝かしい秋の生存者叙勲

吉田・滝田・込山・鈴木の四氏が受章

秋の叙勲で、大字柿岡の吉田次郎（72）さんが勲五等双光旭日章を、大字柿岡の滝田源三郎（80）さんが勲五等瑞宝章を、大字小幡の込山春男（77）さんが勲六等単光旭日章を、大字瓦谷の鈴木義雄（78）さんが勲七等青色桐葉章を、それぞれ受章しました。

叙勲者の横顔

▼吉田さんは、地方自治における功績が認められたもので、柿岡町議会議員を皮切りに、八郷町議会議員、八郷町長を務めるなど永年にわたって地方自治に携わってきました。町長在任中はその手腕を発揮し、現在では全町に波及している土地改良を主軸とした生産基盤整備の基礎



滝田さん（左） 吉田さん（右）

を築くとともに、近代的な農村生活環境を備えた田園都市（下青柳）の実現にも大きく貢献しました。また、主要道路の完全舗装化に努めるとともに、笠間と新治村を結ぶ大規模農道を誘致するなど、文化の向上と経済発展の基礎となる道路の整備に力を注いだほか、統合中学校の新設や体育館、プール、給食センターの建設など教育施設の充



込山さん（左） 鈴木さん（右）

実、観光開発、簡易水道の整備などを積極的に行い、八郷町発展のため尽力しました。

▼滝田さんは、文化財保護の功績が認められたもので、県文化財審議委員、県文化財保護協会長、柿岡考古博物館長などを永年にわたって務め、昭和二十七年に県文化財指定の丸山古墳（高友地内）が発掘されるにあたっては発掘実現のため尽力し、大きな実績を残しています。また、埋蔵文化財を保護・収容するため、昭和四十一年に建設された柿岡考古博物館設立にあたっては、自ら会長をしている丸山古墳顕彰会が中心となって、建設費の一部も負担するなど、その設立推進のため大きく貢献しました。

▼込山さんと鈴木さんは、消防における功績が認められたもので、二人とも戦前戦後を通じて、

永年にわたって消防組織の強化確立のため、機械化による近代消防の推進をはじめ「カマド検査」「火の用心」など、住民一体となった防火思想の普及や操法技術から精神面にわたって消防団員の資質向上のため尽力しました。込山さんと鈴木さんの消防団歴は次のとおりです。
○込山さん 消防組消防手九年十一月、同小頭十二年一月、警防団班長二年、同分団長五年、同副団長一年十一月、消防副団長十年十月。

○鈴木さん 消防組消防手十七年、警防団部長八年六月、同分団長五月、消防分団長五年一月、消防副団長五年。

菊地さんが紺綬褒章を受章

福祉バス購入費の一部にと、町へ百五十万円を寄付された柿岡の菊地四郎（83）さんが、このほど紺綬褒章を受章しました。菊地さんは、これまでにも昭和四十三年に二百万円、四十七年に一千万円を町へ寄付され、菊地四郎顕彰並びに社会福祉基金として「よい子」「よい母」「よい勤労青少年」等の顕彰金に、あるいは「ねたきり者」「重度心身障害児」の見舞金などに使われており、度重なる善意の寄付行為は、たいへん喜ばれ褒章の伝達を受ける菊地さん



ています。
紺綬褒章は、公益のため多額の私財を寄付した功績者に授与されるもので、菊地さんの受章は、今回で三度目になります。



八郷球友が文部大臣表彰

八郷球友クラブ（クラブ員五十名、代表海老沢駿也）が、このほど社会体育優秀団体として文部大臣表彰を受けました。
球友クラブは、柿岡地区内の軟式野球愛好者によって結成されたチームで、二十三年の歴史を持ち、八郷町軟式野球連盟結成の原動力になるなど、町内の軟式野球振興に大きく貢献しています。

取りもとそう美しい霞ヶ浦を

子供たちは、よこれのひどくなる一方の霞ヶ浦をどのように考えているのでしょうか。また、美しい水を取りもとすにはどうしたらよいと考えているのでしょうか。そこで、霞ヶ浦に関する作文募集で特選に選ばれた作品を紹介しますので、私たちももう一度よく考えてみましょう。

よみがえれ

母の泳いだ霞ヶ浦に



柿岡中3年

小林真奈美

私の住む八郷は、周囲を筑波・加波・難台の山々にとり囲まれ、それらの山脈より流れ込む豊かな水に恵まれた、すばらしい緑の郷土です。

この田園の中を霞ヶ浦に注ぐ恋瀬川が、四季の風情を織りまぜてゆったりと流れています。しかし、こののどかな河川にも近年、公害問題が大きくクローズアップされてきました。こんな田舎の静かな小さな河川にも汚染は広まり、美しい自然も次々と破壊されてきたのです。

父の幼い頃の話によると、恋瀬川はすんだきれいな水が流れ、夏になれば、決まって友達と泳ぎ、時にはざりがにやしじみ、たにしなどを採って遊んだそうです。確かに、今は河川は改修され、巾広く直線的な人工美に生まれかわりました。しかし、父の子どもの頃の話は遠い夢物語になりました。

なぜ、人間は昔のおおらかな広い自然に逆らって破壊してしまったのでしょうか。私は恋瀬川に続く霞ヶ浦の自然に関心が高まりました。

霞ヶ浦は淡水魚ばかりではなく、海からの魚も住んでいて、水資源の宝庫と言われています。特にワカサギやシラウオの名産地として有名で、北浦と共に古くからの帆引き網によるワカサギ漁が行われてきました。しかし、最近では開発による水資源の汚濁や乱獲などが原因で、年々ワカサギ漁は少なくなっています。

傾向にあります。それに代わってエビ・コイ・フナ・ハゼなどの漁獲量が多くなってきました。最近では、「採る漁業から育てる漁業」に変わったというところで、「網いけす」によるコイの養殖が盛んになってきました。この他、ウナギ・ニジマス・観

賞魚などの養殖も、盛んに行われています。

ところが、霞ヶ浦の水の汚れが年々ひどくなってきたというのに、漁民が丹精こめて育てた養殖コイが大量に死ぬという事態も、何度か起きたそうです。周辺の都市化や工業化が進んだために、工場・家畜の飼育場・家庭などからの排水で、あの美しい霞ヶ浦は汚れてきたのです。私の母の実家は、霞ヶ浦の湖岸の高地にあります。満月の夜の霞ヶ浦の美しさを、そして真夏の太陽にうたれながら泳いだ子どもの頃を回想する母の瞳は、いつも輝いています。しかし、多くの子ども達に親しまれ

た水泳場、母も泳いだという霞ヶ浦、今はどうとう、カップ天国は消えてしまいました。

今、霞ヶ浦は鹿島臨海工業地域の工業用水、筑波研究学園都市への都市用水など、地域開発による水の需要が急速に多くなり、大切な水資源の供給源になってきました。

水郷筑波国定公園の一部として古くから人々の生活を支え、また多くの観光客に恵まれた霞ヶ浦も、人間の生活の発展に伴って、その姿が変わりつつあります。以前のように、霞ヶ浦の豊かな水に支えられて生きていくためには、これ以上水を汚してはいけません。きれいな水をた

たえる美しい霞ヶ浦をとりもどす努力が、霞ヶ浦の周辺住民にはもちろん、霞ヶ浦を訪れるひとりひとりに必要なのではないでしょうか。そして、これから霞ヶ浦の開発は、地域住民の生活環境を第一に考えて、社会全体の問題として考えていかなければならないのではないのでしょうか。郷土の将来は、人々の郷土愛によって支えられていくと言われています。従って、行政と一体となった住民の郷土愛が、多くの公害問題を解決して、また、豊かな自然に恵まれた住みよい郷土と、子孫に感謝される理想的な霞ヶ浦を造り上げていくことだろうと思います。

戦時中の爆弾を処理！

園部の宮ヶ崎地内の水田（大槻広さん所有）に、爆弾（不発弾）が埋没していたため、町では、11月6日から11月28日にかけて、自衛隊の応援を得て、その処理を行いました。

戦後30余年経過した現在までなまなましい戦禍の跡を残していたこの不発弾は、昭和19年に米軍機から投下されたという250キロ爆弾（直径36センチ、全長150センチ、火薬量120キロで半径300メートル以内に被害を及ぼすもの）で、地下約7メートルの所に埋没していたものです。

爆弾から信管を取りはずす作業は、自衛隊の処理班により28日の午前10時56分から開始され、約40分間で無事終了しましたが、その間は安全を期するため、消防団・警察・広域消防の方々の協力を得て、半径300メートル以内の民家16戸の方々と園部中学校の生徒全員を避難させたり、現場に通じる道路の交通規制を行うなど大がかりなものとなりました。





△カラオケ大会は歩行者天国とあってたいへんにぎわい

▷店先に飾られたかかし（かかしコンクール）



第8回

産業文化祭

町の産業振興と文化の向上をめざす産業文化祭が、11月18日から20日の3日間にわたって開かれ、畜産共進会、農林産物品評会、各種即売会、書道展、生花展、観光写真展、歩行者天国など豊富な催しが行われました。

19日の日曜日の人出が一番多く、歩行者天国となり、ウルトラマンパレードやカラオケ大会、八郷音頭踊り・民謡踊りのパレードなどが行われた柿岡商店街は、たくさん見物客でにぎわいました。

▽みごとに作品がずらりと並ぶ盆栽展、農林産物品評会



◁ウルトラマンパレードに子どもたちは大喜び

▽踊りながら商店街をパレード（民謡踊り）





△たいへん好評だった青年たちの自作自演による演劇
▽バザーの一つ焼ソバは一皿百円で味もよいとあって大繁盛



◎◎◎◎◎ 若人の祭典

青年のつどい

「行動」「情熱」「和」をテーマとする「青年のつどい」が、11月26日に八郷公民館で行われました。

このつどいは、青年団、農業後継者協議会、4日クラブ、ユニセフユースクラブ、農協青年部が開いたもので、各団体の意見発表やフォークコンサート、コーラの早飲み大会、演劇、お茶会など、各種の催しが行われました。

最後に行われた、全員が大きなかがり火を囲みフォークダンスやゲームを楽しむファイヤーストームは、最高の盛り上がりとなり、なごりのつきない祭典でした。



△てれながら一ぶく（お茶会）



△優勝者は五個を二分足らずとか（大福の早食い競争）

▽なれない手つきでモチつき（バザーのおしるこ用）



園部 瓦会 保育所でみかん狩り

十一月二十四日、園部保育所と瓦会保育所では、園外保育でみかん狩りを行いました。



十一月二十四日、園部保育所と瓦会保育所では、園外保育でみかん狩りを行いました。

このみかん狩りは、子供たちを喜ばせてやりたいと、真家の本田良一さん（園部保育所へ）と瓦谷の鈴木正憲さん（瓦会保育所へ）がそれぞれみかん園を無料開放してくださったもので、みかん園には子供たちの笑顔と歓声があふれていました。

なお、お二人とも三年連続してみかん園を開放してくださっています。
写真は園部保育所のみかん狩り



小幡小の「緑を守る少年隊」

自然愛護活動でバラ賞を受ける

11月17日、土浦勤労青少年ホームで茨城県バラ賞ほう賞式が行われ、小幡小学校の「八郷町緑を守る少年隊」がバラ賞を受賞しました。

バラ賞は、奉仕活動や共同事業、常日頃の良い行いなど、地域社会のあらゆる分野で、豊かな社会づくりのために貢献した団体をほう賞するもので、緑を守る少年隊は、昭和48年の結成以来「美しい自然を守ろう」と筑波山周辺の自然愛護活動が続けている実績が評価されたものです。

滝田さんに県教育長から感謝状



滝田さん

このほど、柿岡小学校PTA母親文庫図書委員長の滝田照江（48）さんが、県教育委員会教育長から感謝状を受けました。

滝田さんは、柿岡小学校母親文庫が開設された昭和42年5月から図書委員長として活躍し、柿岡小学校や地域社会の読書活動発展のため尽力しています。



靖国神社に 700 余名が参拝

英霊が祭られている靖国神社の参拝が、今年は11月1日から2日の2日間にわたって実施され、遺族の方たち700余名が上京し、英霊と心の対面をしました。

新入学児の健康診断

来年四月に小学校へ入学する子供たちの健康診断が、十月十九日から十一月二十二日にかけ、町内の各小学校で行われました。

この健康診断は、入学に備え子供たちの健康状態や知能などを調べるためのもので、今年診断を受けたのは四百二十二名です。

＜恋瀬小学校での健康診断風景＞



小松崎さん全国青年大会へ出場

上曽の小松崎隆（23）さんが、十一月九日から十二日に国立競技場で行われた全国青年大会の砲丸投げの部に出場しました。

小松崎さんは、県青年体育大会砲丸投げの部へ郡代表として出場、十二メートル八十五センチの記録を出して、全国大会出場となった。

ものですが、全国大会での入賞は惜しくもありませんでした。



小松崎さん



高血圧(シリーズ④)

高血圧の管理は「日常の生活規制」「食生活上の注意」「正しい医療」が三本柱です。

今月は「食生活上の注意」として、うす味に慣れ、塩分の取り過ぎを防ぐためのくふうをのべてみましょう。

▽食事(低塩食)の習慣は、離

手作りのヨーグルト

半田 原田 静江

どこのご家庭でも牛乳を飲んでる事と思いますが、ちよっと加工してみませんか。私の家では、手作りのヨーグルトを作り、子供たちに喜ばれています。

加工には、ヨーグルトポットという道具を使っていますが、電子ジャーを利用しても簡単にできますので紹介します。
へ作り方
(1)電子ジャーをあたたためてお



乳初期(生後五〜六月)から

食塩の取り過ぎが高血圧の発症進展に深い関連を有していることは、東北の農村地帯を中心とした疫学的研究で明らかです。

高血圧の予防は、離乳初期の段階からうす味、低塩食の習慣を身につけさせることが基本であり、親の好みを子供に押しつけることが一番いけません。塩辛い物を好む親の好みが、子供に高血圧を引き起こすものとなることを、子を持つ親はよく認識する必要があります。

▽少ない塩でおいしく食べるくふうを

日本人の食事は、普通一日に

く。(あたたまったらコンセントをぬく)(2)牛乳二本(四百cc)を五十度くらいまであたためる。(日時のたつた牛乳は、必ず沸騰させてから五十度くらいにさます)(3)容器



(ボール)に乳酸菌(市販の九十cc入りヨーグルト三分の二くらい)を入れ、あ

ためた牛乳を加えてよくまぜあわせる。(4)電子ジャーに四百cc〜五百ccのお湯を入れてから(3)を容器に入れたまま入れ、フタをして約三時間くらいたつとできあがります。

家庭でできる

応急手当(その二)

骨折

外見では骨折しているかどうかわからなくても、痛みやはれがとれない時は、患部を動かさないように固定してレントゲン検査を受けてください。折れた骨が皮膚からとび出しているような時には、おまかに汚れを落してから、骨を無理に押し込んだりせず、包帯で厚めにつつま、副木で固定します。たとえば手や足の場合、副木は関節から関節まで当てる、傷口をさけてしばらく休めます。痛みやはれがひどい時は、冷水かほう酸水で冷湿布して、すぐ医師に連絡してください。

脳貧血

めまいがしたらすぐその場で横になるか、頭をできるだけ低くしてうずくまること。倒れたら風通しのよい所に運び、衣服をゆるめて寝かせます。吐気のある時は顔を横に向け、足の方を高くして暖めてください。

脳卒中で倒れたら

なるべくその場を動かさないことですが、動かす時は頭を刺激しないように注意してください。低めの枕を当て頭を冷し、大至急医師を呼びます。

間違つて毒物を飲んだ時

意識のある時は、食塩水やぬるま湯を少量に与え、指をのどの奥に当て何度も吐かせます。意識のない時や時間がたっている時は、体を暖ためて救急車を呼びます。

くらしの知識

やけど

どんなやけどでも、まず水で冷やして内部への進行をくい止めます。衣服の上からのやけどはそのまま冷やすこと。無理にはがすように衣服をとってはいけません。また、台所の油などを塗ると、後で医師の治療のじやまになります。冷やしてすぐに診察を受けてください。水ぶくれ

☆☆おしらせ☆☆

町民マラソンに参加を

▽実施期日

昭和五十四年二月二十一日

▽参加資格

町内に居住、または通学・通勤している者。

▽参加申し込み期日

昭和五十四年一月十三日(土)までに教育委員会社会教育課へ。申込用紙は同課(児童・生徒分は各学校)にあります。

※詳しくは社会教育課(電三一〇二七三)へおたずねください。

消費生活モニターに

吉田さんと市村さん

県消費生活モニターに、柿岡の吉田としさん(電三一七三二)と下林の市村和子さん(電三一〇四二〇)の二人が委嘱されています。



吉田さん



市村さん

なお、消費生活に関する意見・要望等がある時はご相談下さい。

オアシス運動原稿募集

町教育委員会では、うるおいを心の中に呼びもどすための「オアシス運動」をより推進するため、オ(おはようございます)ア(ありがとうございます)シ(しつれいします)ス(すみません)に関する体験事例や意見、又は提言等を内容とする原稿を募集しています。ぜひ応募ください。

▽応募方法

四百字詰原稿用紙三枚以内で、

スキー教室参加者を募集

▽実施期日

昭和五十四年二月九日(二月十二日(九日午後九時発))

▽場所

尾瀬戸倉スキー場

▽募集人員及び参加費

四十名、一万二千元

▽申し込み先

八郷町教育委員会社会教育課(電三一〇二七三)

▽募集締め切り

昭和五十四年一月二十日

昭和五十三年中に家屋を新築(昭和五十二年一月一日〜昭和五十四年一月一日までに完成のもの)された方は、役場の税務課へ申し出て下さい。

気象ひとくちメモ

西高東低という冬型独特の気圧配置になってきます。これは、シベリア方面に中心のある高気圧があり、東には海洋に大低気圧があるわけです。空気は水と同じように高いところから低い方へ流れるわけですから、この中間にある日本付近の風向きは北よりになります。これが季節風です。このため日本の冬は毎日のように風が強く、くる日もくる日も同じような天気が続くわけです。この冬型気圧配置もときにはくずれ、季節風が弱まった時に台湾近海とか東シナ海に低気圧が発生します。その低気圧が東進しはじめると、日本海側にも久しぶりに青空があらわれてきます。

やまと文藝

短歌

吉田 次郎 選

花室の孫が訪ねてくるという日をかぞえいつ、栗をほし置く

猪内 高久 長男

追いつけばまた追い越しぬ孫とゆく散歩の道に枯葉舞い散る

柿岡 倉木とし子

はやばやと堆肥を運ぶ妹は朝日かがやく露の草踏み

東成井 長谷川系子

俳句

滝田 玉水 選

落花生曳く娘の胸に夕日燃ゆ

細谷 金沢翠柳

落花生干すその上に加波の峰

大増 青木村莊

俚謡

大木 嶺月 選

花を咲かせて実を結ばせて末ははかなく散る落葉

金指 関口双峯

四季は流れてもう立つ冬に富士は白雪初化粧

片岡 大野谷常雄

老いの一徹時には葉成つて効目が世に残る

猪内 高久長男